

■EU：EUは2020年以降、より柔軟な新たな料金制度導入を促進か

2018年8月3日付の専門誌は、EUが2020年に施行するとみられる新たな電気料金制度では、より柔軟な制度の導入が求められると伝えた。この制度は再生可能エネルギーの導入促進やスマートメーターの普及を念頭に置いたもので、既にスペインや北欧諸国では広く採用されている時間帯別料金制度などがモデルとなると考えられる。専門家は「欧州の消費者は再エネの導入やインターネットに接続した家電の普及により、ダイナミックな電気料金制度を採用することでスポットの卸電力市場の恩恵を享受できる」としている。EDFやセントリカなど既存の大手事業者の反応は鈍いが、電力市場に新規参入した小売事業者の中には、30分あるいは1時間単位で電気料金を変える会社もあり、小売事業者の間で大きなうねりになる可能性があるとする。